

第4回

市政報告会

10月に開催しました「市政報告会」の内容や参加者から
のご意見の一部をお知らせします。

◆はじめに

10月15日から30日まで阿蘇市内の11の小学校区で開催しました市政報告会は、昨年を上回る約600名の方々に参加をいただきました。今回4回目の開催でありましたが、年々、その内容・ご意見も充実し、質疑の時間では、参加者の方々からまちづくりに関するご提言やご要望等をたくさん頂くことができ、ほとんどの会場で予定時間を越える盛会でありました。今後の阿蘇市政にとって有益な市政報告会であつたと感じております。

この市政報告会は、私をはじめ副市長、教育長、各部長の行政執行部が直接それぞれの地域にお伺いし、市が現在取り組んでいる事業や財政状況を皆さまに知ってもらうとともに、皆さまが今後のまちづくりに何を求め、何を期待しているか、地域の声を聴き、行政と住民とが一緒になって開かれた市行政運営を進めることを目的に

開催しています。今回、会場で皆さまからいただきました多くのご意見につきましては、今後の市政に大いに反映させ、さらに開かれた行政の推進に努力してまいります。
(阿蘇市長 佐藤義興)

◆報告の内容

【総務部】

- ・光ネットワーク整備事業
- ・携帯電話エリア整備事業
- ・内牧児童公園（仮称）整備事業
- ・阿蘇駅前交通広場整備事業

【市民部】

- ・母子・女性の健康増進事業
- ・高齢者福祉の向上に向けて
- ・阿蘇中央病院建設に向けて
- ・バイオマスエネルギー地域システム化実験事業

【経済部】

- ・中山間地域等直接支払制度の概要
- ・九州新幹線全線開業に向けた受

け皿整備

【土木部】

- ・幹線道路整備事業
- ・公営住宅整備事業

【教育部】

- ・「世界文化遺産」「世界ジオパーク」登録推進に向けて
- ・学校規模適正化基本計画について

※詳細は阿蘇市ホームページに掲載しています。当日の資料が必要な場合は総務課秘書政策室 ☎22-3111までご連絡ください。

◆各会場での質問と回答

11の会場で出た意見・質問の一部を紹介します。

【Q】阿蘇市内の老人ホームに申し込んでもなかなか入所ができないうし、病院が経営している老健施設についてもなかなか入所できない状況である。

阿蘇市として今後高齢者が増え、介護が必要となる人が多くなる中、阿蘇中央病院を建設するにあたって老健施設、介護施設も含めてどう考えているのかお聞きしたい。

【A】中央病院の計画については、中核病院としての建替えと地域医療の充実を目的としている。今回の病院建設に伴い、阿蘇地域の医療体制

を立て直そうと考えている。その中で、医療施設だけでなく、介護施設との連携を図り、高齢化も見据え今後の体制づくりを検討していくことになっている。阿蘇中央病院が中核病院として機能を果たすには、地域医療の充実が最も必要である。
(市民部長)

【Q】豊肥線は今後電化される計画があるようである。

豊肥線の南側は住宅がかなり多くなっており、宮地駅に南口を作つてはどうかと思う。そのためにも食糧事務所跡地は阿蘇市が所有していたほうがいいのではないか。

【A】3年前に豊肥線電化の促進協議会が設立され、JRに対して要望しているが、JRとしては「新幹線等の整備を重点的に取り組んでいる状況。また、新幹線が開通すれば豊肥線は重要な路線にはなるが、乗車される方が少なく、今のところ電化の取り組みまでは至っていない。」との回答を得たところである。しかし、電化は将来的には必要となってくるものであり、今後も引き続きJR九州に対して要望をしていきたい。

また、宮地駅駅舎の整備についても、今までどおり要望していく。

食糧事務所跡地については、有効利用できないか十分検討していきたい。
(総務部長)



【Q】阿蘇中央病院建設は、膨大な費用を要するものであり、建設後の経営を十分考えないと、阿蘇市の財政を圧迫する恐れがある。

単に阿蘇市だけでなく、南郷地域、竹田市、小国地域の方々にも利用しやすいよう、もっと東側に建設してほしい。

【A】現在、阿蘇市と竹田市との間で、生活圏域の中で総合的な協力体制がとれないかと協議を行っている。

その中で医療関係についても、手術を含め脳血管、心疾患の中核病院にならないかを考えているところである。

病院経営にあたっては、経営を良くする事、黒字の確保も大事であるが、自治体病院として、赤字部分も受けもたなければならぬ。地域の医師会とも連携しながら、皆さんに信頼される病院として、また竹田を含む阿蘇地域の中核病院として経営が出来るよう今後進めていきたい。

(市民部長)

【Q】阿蘇市内の学校敷地内が禁煙となっている。学校の先生が道路に出て煙草を吸っている姿を見かけるが、学校敷地内禁煙に至った経緯を聞かせていただきたい。

市民の方々にもそのことを周知しないと誤解を招くのではないかと、また、学校の敷地内に煙草を吸える場所を作ったあげたらどうか。

【A】熊本県は全国でも禁煙対策が進んでいない状況にある。

また校内に落ちている吸殻を拾っているのは子どもたちである。大人が手本を示す必要があるというところで、学校敷地内での禁煙・禁酒に取り組んでいる。ご理解いただきたい。

(教育部長)

【Q】三野地区の道路（県道内牧坂梨線）改修について、どのような理由で中止又は工事が遅れているのか。

また今後の見通しについて詳しく説明をいただきたい。

【A】三閑地区の整備（古城ヶ鼻から阿蘇品までの村下の県道バイパス工事）については、昭和52年に一部工事着工したが、その後一部地権者からの同意が得られず、平成3年以降、中止状態となり現在に至っている。

市としては、地元住民からの工事再開に向けた強い要請を受け、県に対して要望を行っており、県からは、現在整備中の山田地区、手野地区を早急に完了し、その後未改良地区に移っていききたいとの回答を得たところである。

(土木部長)

【Q】一の宮地区の小学校の統合はいいつ頃になるのかお尋ねしたい。近々に統合が計画されているのであれば、中通小学校のプール建設に疑問がある。

【A】今計画している阿蘇地区中学校統合（阿蘇中学校と阿蘇北中学校の統合）に少なくとも3年かかるため、一の宮地区の小学校4校の統合は、早くして平成24年以降となると思われる。

中通小学校プールについては、十分協議を重ねた結果、その間の子どもたちのことを考え、道路整備に伴う補償費の範囲内で小規模のプールを建設することとしている。

(教育長)

【Q】新型インフルエンザの予防接種について、段階的に接種が行われているが、一人暮らしの高齢者には優先的に実施できないか。

【A】新型インフルエンザの予防接種対象者は、10月後半から順次、医療従事者・妊婦・基礎疾患のある方・1歳以上の幼児・小学生から高校生・65歳以上の方の順となっており、阿蘇市民の約半数が対象となっている。

一人暮らしの高齢者を対象にとの要望については、65歳以上の方の中で対象となる。但し、基礎疾患のある方は、かかりつけ医の診察判断によつては早く接種することが出来る。

(市民部長)

【Q】光ネットワーク整備について、“お知らせ端末は無料で配布”とのことであるが、機能として電話機能があるのか。

この事業の範囲はセンターとなる施設から家庭までとなっているが、センターとなる施設は市の資産となるのか、また既存の電話からこの電話に切り替えるためにはどのような手続きが必要なのか。

【A】今回整備する“お知らせ端末”には、電話機能を有している。したがって、この端末同士の通話であれば無料通話が可能となる。

しかし、阿蘇市外への電話や“お知らせ端末”以外へ掛ける電話については、既存の電話機を使うこととなる。

光配線から端末機までは、市の財産として各家庭に無償で貸し付けとなる。

(総務課長)

【Q】今まで農業政策に対して国・県からたくさんの補助金があったが、民主党政権により、どうなるか心配している。概要を説明してほしい。

【A】政権交代の中で、議論されている「戸別所得補償制度」については、生産費、家族労働分の8割と販売価格の差を補填するものがあり、もう一つ「水田利用持久力向上事業」は転作奨励金を廃止し、麦、大豆、飼料用稲等の金額を決めて補填していくということであるが、あくまでも農業新聞による情報である。まだはっきり国が示していないため、示された段階で今後集落座談会の中で説明を行っていききたい。

(経済部長)



【Ｑ】「阿蘇ものがたり」、「大阿蘇音頭」ができたので、小学校や幼稚園で覚えていただき、運動会などで披露すると祭りも盛り上がるのではないかと思う。

【Ａ】阿蘇市にはいろんなイベントがある。「阿蘇ものがたり」を流しながら、歌を通して阿蘇のPRに努めていきたい。

【大阿蘇音頭】については、まだ市民への認知度が低いのが現状である。ご意見のとおり小学校や保育園等で踊りを覚えていただき、運動会等で披露していただきたいと考えている。そうすることにより、火の山まつりも阿蘇市のまつりとして盛り上がるのではないだろうか。（経済部長）

【Ｑ】中央病院の建設に関して、場所の選定など決まっていると聞いた。「こんな病院にしてほしい」という市民の意見はどこに、どの段階で言ったらいいか。地域の意見を言える機会を作っていただけないか。

【Ａ】建設場所については、坊中周辺や交通の便が良い場所の中から現在４ヶ所を選定している。

意見については、今までのいろんな形で皆さんとお話しをし、集約してきたところである。それを基に現在の計画については市民の方をメンバーに含めた建設協議会で決定したものである。（市民部長）

平成22年3月までに専門分野も

含めた病院建設の基本構想というたたき台を作っていく予定である。それが出来た時点で、再度地域の意見を聞く機会を設け、実施計画を作り上げていきたい。（市長）

【Ｑ】阿蘇駅前が整備されているが、駅舎は古い。新設も含め、整備を検討していただけないか。

【Ａ】阿蘇駅前整備についてJRや産交と協議をしているところである。その中で駅舎も含めた一体的な整備、地域の活性化を図っていくよう協議をしている。（総務部長）

【Ｑ】ASO田園空間博物館の売店は、売れ行きが良いが、今のままでは非常に狭いので、拡張するか東側に施設を造り、地産地消を進めていただけないか。

【Ａ】ASO田園空間博物館は、国の補助金により建設した特産品等の展示施設でもある。現在、実証実験的に販売を行っているところである。今後施設に訪れる方々の意見、また出店される方々の意見も踏まえ、検討していきたい。（総務部長）

【Ｑ】統合後の学校跡地については、今のところ計画があるのか。

【Ａ】跡地利用検討委員会を立ち上げ、地域の要望や意見を踏まえながら検討していくこととしている。（教育部長）

【Ｑ】統合中学校は内牧に建設が予定されているが、西町、竹原地域の人は、通学距離や部活動を考えると一の宮中学校が近いとの意見がある。そのような状況も考慮した上で校区変更については、市はどのように考えているのか。

【Ａ】今回の計画では、今までの阿蘇中学校区の区域を分けることなく、統合中学校区としたので基本は、統合中学校への通学となる。しかし家庭の都合で一の宮中学校を希望する場合は、保護者からの申請に基づき、教育委員会で協議し指定校の変更が可能となる。ただそうなれば保護者の責任で通学していただくことになる。（教育部長）

【Ｑ】内牧の山楽荘跡地は、借地料をかなり払っているが、実際の利用は地元の車両が大半で観光客が止めることはあまり無い。阿蘇神社前の駐車場のよう有料駐車場にすることも考えるべきではないか。目的外の駐車をもう少し指導しないと、何のために市が年間220万円で借り上げているのか意味を持たない。

【Ａ】平成11年の国体以降、商店街のために市が借り上げて開放している。現在の状況は市でも調査したが、言われるように商店街を利用する車より商店の方々の使用が多い状況が見受けられる。

今回、内牧児童公園（仮称）の

駐車場もできることで、体育館等の駐車場も含め、全体的に見直す時期にきていると思っている。ただ行政だけでは決められないので、地域の方々と十分話し合いながら、内牧中心市街地活性化検討会においてもこういった方向でいくのがベストなのか検討していきたい。（経済部長）

温泉を使用した手湯や販売施設の計画案もあり、地権者に売っていただくよう話をしたが、「譲ることはできない」とのことであった。今後駐車場の問題については、地元の方々と話をし、有効利用を行っていきたく思っているが、もう少し商店街を含め地域の方々が結束して、「山楽荘跡地をこう活用したい」という動きが欲しい。（市長）

【Ｑ】6月から8月まで「とくくお買物券」の発行が行われたが、達成率が63%とのことであった。このことについて市長の思いをお聞かせいただきたい。

【Ａ】できる限り100%を期待していたが、他の地域では一世帯あたりの購入制限などが無かったので完売となったものであり、阿蘇市の場合は、制限を設けたために63%となったものと思う。しかしながら、それなりの経済効果は実感している。



残った予算については、少しでも市民の皆様方のお役に立てるよう、12月に向けてどう使っていくか関係機関と協議を進めている。(市長)

【Q】光ファイバーケーブル事業において、補助が90%で一般財源は3億となっているが、その後の運営費はどのくらいになり、誰が負担するのか。

もう一つ、オプションでインターネットが定額使い放題となっているがその利用料はいくらなのか。

民間主体では採算が取れないのに、なぜ行政ができるのか。維持管理は相当な金額となるだろうが、税金で賄うのではないか。

【A】センター設備から各家庭の配線等の維持管理費は行政が負担し、お知らせ端末本体は無償貸し付けとなるが、電気料だけは負担していたことになる。

インターネット接続については、プロバイダーは阿蘇テレワークセンターとなり、現在のところ利用料は月額6,000円程度になる見込みである。(総務部長)

維持管理については、基本的にはインターネットプロバイダー事業で賄っていくこととなる。各家庭までの配線の維持管理は、既存のNTT柱、九電柱の共架を予定しているので共架料として年間相当の金額となる。とにかく光は早いに便利である。インターネットに

接続をしている方は、是非光への切り替えを行っていただきたい。

企業が採算が取れないというのは、初期投資を回収できないということである。行政がすれば約9割は補助でできる。そういった初期投資が民間と行政では違うことが、企業が取り組まない理由である。

今後、具体的に事業が始まれば、各地域で事業の説明を行っていく。(総務課長)

【Q】昨年阿蘇西小学校体育館を新築したが、学校統合の計画があるのならば、無駄になるのではないか。

【A】体育館建設は、合併前からの計画であり、早急にとりくむ予定であったが、埋蔵文化財の調査に2年を費やしたため、工事着工が平成19年度と遅れたものである。今後、社会体育施設など地域の意向も踏まえながら利活用を検討していく。(教育部長)

【Q】高齢で耕作できず、小作料や基盤整備償還金で、農家であっても赤字である。高齢者に対して支援をしていただけないか。

【A】農業分野においては、現状ではこれだというものがなかなか見当たらない状況である。政権交代により、戸別所得補償として小規模農家への補填も考えられるが、やはり今まで5年間推進してきた集落営農、団地化、ブロックロー

ーションなど、担い手づくりのため推進してきたことは崩さず、国の政策にそって進めていきたい。今後国の具体的な政策が分かり次第、集落座談会を開きながら説明をしていく予定。(経済部長)

【Q】民主党政権となったが、マニフェストの内容を見ると矛盾だらけである。阿蘇市が計画している事業が、民主党政権により影響がでくるのではないかと懸念している。市はどう考えているのか。

【A】民主党政権となり、国は補正予算を見直し、事業の切込みを行っている。阿蘇市においても、補助事業に多少影響がでくるものと考えられる。国の政策が具体的な部分まで見えてこないもので、何とも言えない。情報収集に努め、状況を把握しながら市民が安心して生活が行えるよう心掛けたい。(総務部長)

【Q】新型インフルエンザについて、南阿蘇では一部補助、小国・南小国は以前からインフルエンザの援助をしていた。阿蘇市においても、財政が厳しいのは分かっているが、子ども、高齢者に対して少しでも援助していただきたい。

【A】阿蘇市では9月議会で、新型インフルエンザワクチン接種に對しての補助をすることが決定し、現在金額等について検討を行って

いる状況である。今のところ、南阿蘇と同じ程度の助成(南阿蘇村では、1回目の接種に対し1,600円、2回目の接種に対し1,550円の助成)ができるものと思われる。

また、季節型インフルエンザワクチンの接種に対しては、4,700円の接種代に対し、65歳以上の方には3,000円の助成、それ以外の方に2,000円助成している。

(市民部長)

【Q】少子化対策として、住宅整備、子育て支援策等を手厚く行っているが、若い子育て世代の定住化が子どもが多くなるきっかけとなると思っている。長野県のある村では、子育て世代の家賃の助成で人気が出て、村が活性化していると新聞で読んだ。

【A】子育て支援として、いろいろな取り組みを行っている。例えば保育料は県下でも安い方であり、医療費については、中学校まで無料化等の事業を行っているが、雇用問題、住宅問題など総合的に対策を行うことが必要。(市民部長)

阿蘇市は、他の市町村と比べて少子化対策に独自で手厚く取り組みを行っている。このような取り組みをまとめたパンフレットを各企業等に配布し、阿蘇市に住めば子育てしやすいことをもっとアピールし、若い世代の定住化に努めていきたい。(総務部長)